

2012年11月6日

特定非営利活動法人 NPO カタリバ

報道関係各位

東北に、「世界と一番近い教室」を

岩手県大槌町の中高生が、ふるさとの魅力と課題を、
英語でプレゼンテーション。復興を担うグローバル人材へ。

特定非営利活動法人 NPO カタリバ (代表理事 今村久美) は、ハタチ基金事業として、被災地の放課後学校「コラボ・スクール」を運営しています。その2校目、「大槌臨学舎」(岩手県大槌町)では11月17・18日、中高生の生徒約30名が、これまでの英会話・プロジェクト型学習の成果を発表します。同日には、大槌臨学舎をご支援頂いているバンクオブアメリカ・メリルリンチ様の社員9名が大槌町へ来訪。英語でのプレゼンテーションや町のガイドなど、生徒たちとの交流学習をサポート頂きます。

「町の復興に、役立ちたい！」子ども達の想いから始まった、新プログラム

大槌臨学舎は、津波の被害等によって仮設住宅などで暮らし、落ち着いて勉強する場所を奪われた中学2・3年生、高校1~3年生約200名に、学習指導と心のケアを行っています。震災から1年半がたち、子どもたちからは「町の復興のために、自分たちも何かしたい!」「支援を受けた人たちに、将来恩返しをしたい」という想いが芽生え始めました。これらの声に応え、未来の復興を担うグローバル人材を育成するため、2012年夏から始まったプログラムが、「Skype 英会話」「大槌ガイドプロジェクト」です。(※プログラム内容は2枚目で詳述)



「ふるさとの魅力と課題を、英語で発信」を

バンクオブアメリカ・メリルリンチ社の社員がサポート

大槌臨学舎は、バンクオブアメリカ・メリルリンチ様などにご支援頂き、2012年1月に開校。設立・運営資金のご支援に加えて、春・夏休みに生徒が上京した際には、同社社員も参加してのワークショップ開催や職場見学の受入れなど、教育プログラムでもご協力頂いてきました。今年度、同社の支援を受けて開発した、「Skype 英会話」や「大槌ガイドプロジェクト」を受講した生徒たちには、「ふるさとの魅力や課題を再発見して、英語で発信する」力が、少しずつ育ってきました。11月17、18日には、同社の有志社員9名が大槌臨学舎を訪問。「Otsuchi Tour」や「My Presentation」などのプログラムにもご協力いただきます。



本件に関する取材申込問合せ先

特定非営利活動法人 NPO カタリバ / E-mail: pr-tohoku@ml.katariba.net

- ・大槌臨学舎：川井 (080-1805-4169、岩手県上閉伊郡大槌町上町2-16 上町ふれあいセンター内)
- ・東京事務所：伊藤 (03-5327-5667、東京都杉並区高円寺南3-66-3)

ふるさとの課題や魅力を、学びながら伝える - 大槌ガイドプロジェクト -

大槌臨学舎では、今年度から主に高校1～3年生を対象に、2つのプログラムを開始いたしました。1つ目



は、町を訪れた方々をガイドするというプロジェクトです。震災がきっかけとなり、生まれ育った地域への愛着がより強まった生徒たちの有志が、町の歴史や産業などを文献から学び、町の課題等を地元の大人たちにヒアリングするなど、自分たちで考え、議論しながら事前学習をしました。震災時の体験を交えながら、「どのような町へ復興していきたいか」の想いを込め、町を訪れた方々をガイドしています。

町の復興を担う、グローバル人材を育成 - Skype 英会話 -

2つ目の新プログラムが、「Skype 英会話」です。震災後には、海外から支援を受けるなど、子どもたちが「世界」を感じる機会も増えました。コラボ・スクールでは、「もっと英語を身近に感じ、復興を担うグローバル人材に育ててほしい」という想いから、英会話の習得に重点を置いています。プログラム作りでは、株式会社ワーク・イングリッシュと提携。フィリピンの講師と Skype でつなぐ英会話教室を約20名の生徒が受講しています。



受講した生徒たちの声「もう少し英語を勉強したいと思ったし、ぜひ海外に行きたいと思うようになった。」
「本物（外人）と話すことで、もっと話したい、もっと知りたいと思った。」「自分がこんなに英語で会話できるとは知らなかった。」「英語が前よりも好きになった。」「海外に行き、その場の雰囲気を感じたいし、もっと英語で話したい。」など

見守ってくれた社員の方々と再会、成長した姿を見せる

これらの新プログラムは、バンクオブアメリカ・メリルリンチ様の社員の方々に、サポート頂いています。今年3月には卒業生約40名が同社を訪問。支援への感謝を伝えるとともに、キャリアを語り合うワークショップを行いました。8月に大槌臨学舎の生徒などが上京した合宿型研修では、同社社員の方々から英語で日本橋付近をガイドしてもらいました。9月には、同社社員約8名が Skype を通して、生徒たちと交流、生徒



たちは大槌について英語で紹介しました。このように生徒たちと定期的に交流を持ってきた同社社員の方々が、11月17・18日に大槌臨学舎を訪問。生徒たちにとっては社員の方々との再会、そして英語での大槌ガイドとプレゼンテーションを通し、成長した姿を見せる場となります。また中学生にとっては初めての「出会い」の場です。

来年3月予定の同社への卒業お礼訪問、高校生になってからの「Skype 英会話」プログラム等、今後も継続的に支援・交流頂きます。

本件に関する取材申込問合せ先

特定非営利活動法人 NPO カタリバ / E-mail: pr-tohoku@ml.katariba.net

- ・大槌臨学舎：川井（080-1805-4169、岩手県上閉伊郡大槌町上町2-16 上町ふれあいセンター内）
- ・東京事務所：伊藤（03-5327-5667、東京都杉並区高円寺南3-66-3）

Bank of America Merrill Lynch x Katariba 大槌ツアーのご案内

コラボ・スクール「大槌臨学舎」では、11月17、18日の2日間に渡り、中高生約30名が、これまでの英会話・プロジェクト型学習の成果を発表します。教育プログラムや資金面でもご支援いただいている、バンクオブアメリカ・メリルリンチ様の社員の方々に協力いただき、英語を用いた発表会、交流会を行います。すべてのプログラムは、報道関係者にもプレス公開いたします。

- ◆日程：2012年11月17日（土）・18日（日）
- ◆場所：コラボ・スクール「大槌臨学舎」ほか
（岩手県上閉伊郡大槌町上町2-16上町ふれあいセンター周辺）
- ◆参加者：バンクオブアメリカ・メリルリンチ様 9名
大槌臨学舎 中学生約15名・高校生約15名
- ◆主な内容
 - ・11月17日（土） 14:00～17:00 開会挨拶・英語ガイドツアー（大槌町内）
 - ・11月17日（土） 17:30～21:00 英語プレゼン・夕食・講評
 - ・11月18日（日） 10:00～11:00 中学生と英語交流
- ◆取材可能日時
すべてのプログラムが取材可能ですが、
特に 11月17日17:00～17:30と18:30～19:00、11月18日12:00～は、
生徒たちへのインタビューが可能です。
また、11月14（水）・15日（木）・16日（金）19時半からの準備の様子も
事前取材いただけます。

コラボ・スクールは、津波で家や塾を流された子どもたちのために、学習指導や心のケアを行う、被災地の放課後学校です。「大槌臨学舎」は「女川向学館」に次ぐ、2校目のコラボ・スクールです。2001年の設立から主に首都圏でキャリア学習支援を行っていたNPO法人、NPOカタリバが運営しています。

大槌臨学舎 概要

- ・設立：2011年12月準備開校（12年1月本開校）
- ・場所：上町ふれあいセンター、小槌神社、大念寺
- ・開校日：月～土曜（日曜・祝日は休校）
- ・生徒：199名（2012年10月末時点）
- ・対象：中学2年生～高校3年生
- ・後援：大槌町教育委員会、岩手県教育委員会、岩手大学、
東京大学、岩手県立大
- ・運営：特定非営利活動法人NPOカタリバ
- ・学費：ご寄付により、当面は無料

アクセス

- ・自動車
東北自動車道東和ICより
約3時間（東京から約8時間）
- ・公共交通機関
JR釜石駅下車、バスで30分
（東京から約6時間）

岩手県大槌町



本件に関する取材申込問合せ先

特定非営利活動法人NPOカタリバ / E-mail: pr-tohoku@ml.katariba.net

- ・大槌臨学舎：川井（080-1805-4169、岩手県上閉伊郡大槌町上町2-16上町ふれあいセンター内）
- ・東京事務所：伊藤（03-5327-5667、東京都杉並区高円寺南3-66-3）